

発達と老化の理解

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 稲田 弘子

■使用テキスト 林 泰史・長田久雄 編
『最新介護福祉全書9 こころとからだのしくみ 発達と老化の理解』メヂカルフレンド社

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

「発達と老化の理解」では、成長・発達の観点から老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化及びその特徴に関する基礎的な知識を修得する。

人間の成長と発達の基礎的な理解のために、誕生から死に至るまでの心身の発達や成長、生理的变化を理解したうえで、老化にともなう心身の変化やそれが日常生活に及ぼす影響、家庭・地域での役割の変化や、経済的不安、いろいろな喪失体験など老年期の発達課題について理解する。

到達目標

- 1) 人間の発達と成長について説明できる。
- 2) 各発達段階の特徴と課題について説明できる。
- 3) 老化に伴うこころとからだの変化について説明できる。
- 4) 老化による心身の変化が日常生活にどのような影響を及ぼすのか説明できる。
- 5) 高齢者に多い疾病とその症状の現れ方の特徴について説明できる。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 人間の成長と発達

この章のポイント

ここでは、心理学的な人の発達理論を学び、さらに、身体機能の発達、知覚の発達、心理社会的な発達などの様々な視点から人の成長を概観する。また、その発達の評価方法についても学ぶ。

第2章 社会からみた老年期

この章のポイント

現在の日本は超高齢化社会といわれるが、わが国ではいままで老年期をどのように捉えてきたのだろうか。そして、これからはどのように捉えていけばよいのだろうか。社会からみた老年期、また高齢者施策、いわゆる高齢者の医療・福祉に関わる法律や制度の推移を追いながら、今日の高齢者福祉の問題を検討する。

第3章 ライフサイクルのなかの老年期

この章のポイント

ここでは、ハヴィガーストやエリクソンの理論からライフサイクルの中の老年期とはどのような時期かを理解する。また、福祉施設における日常のケア場面も含めた高齢者のセクシュアリティについて理解し、ケアの基本を学ぶ。さらに、高齢者の経済状況や意識、家族関係、生きてきた時代など生活基盤を理解する。特に老年期で深刻になる様々な喪失体験について学ぶ。

第4章 心身機能の加齢性変化と日羽状生活への影響

この章のポイント

ここでは、身体機能（脳神経系・心血管系・呼吸器系・消化器系・腎／泌尿器系・運動器系・感覚器系・造血器系・皮膚）、知的・認知機能（知的・言語・記憶など）、精神機能の老化の特徴を学ぶ。そして、そのような加齢による心身機能の変化が日常生活にどのような影響を及ぼすかを理解する。また、低栄養や転倒・骨折、うつなどの老化によるさまざまな機能の低下への対応を学ぶ。

第5章 高齢者の心理

この章のポイント

ここでは、高齢者の心身機能の個人内差および個人間差について理解する。高齢者自身が老化についてどのように思っているか、また心身機能の変化についてどのような心理状態になっているかなど高齢者の様々な気持ちを理解する。それらを踏まえ、高齢者の個別性に配慮した介護について検討する。

第6章 高齢者に多い症状・病気

この章のポイント

ここでは、高齢者によくみられる老年症候群、廃用症候群などの症状などの病気を理解し、それらと日常生活との関係を学ぶ。また、高齢者の生活を支えるためには保健・医療職種との連携は欠かせない。そのため、具体的な連携方法を身につけ、よりよい連携について検討する。